

# 雲部車塚古墳

くもべるまづかこふん

所在地：東本荘



古墳時代中期（5世紀）前半に築造された、大規模な前方後円墳である。周濠を巡らす定型化した墳形を持ち、埋葬主体に長持型石棺を用いている。また、頸鎧、短甲、衝角付冑等の武具、また刀剣、鉾、鉄鏃等の多量の武器を副葬していた。

古代の丹波地域の政治的体制及びヤマト王権との関係を探る上で欠くことのできない古墳である。明治33年に、宮内庁によって陵墓参考地となった。全長140m。